

JASDAQ 銘柄コード 7564

2010年3月期 第3四半期決算説明会

～ 業界No.1のスケールメリットを最大限に活かした新たな成長軌道へ ～



株式会社 ワークマン

2010年2月10日

ご説明内容

- ・第3四半期決算の概要P3~P10
- ・2010年3月期決算の見通しP11~P13
- ・取組み状況P14~P17
- ・第3四半期決算の詳細P18~P23

第3四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	38,838	+1.3	36,587	△5.8
(既存店売上高)	—	△1.0	—	△8.5
営業総収入	27,597	+4.2	25,600	△7.2
営業利益	3,369	△4.4	2,867	△14.9
経常利益	4,082	△2.9	3,504	△14.2
四半期純利益	2,169	△2.4	1,871	△13.7
1株当たり四半期純利益	106円05銭		91円73銭	

決算の概要2

第3四半期会計期間 10月～12月



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	14,625	△1.9	14,277	△2.4
(既存店売上高)	—	△4.5	—	△5.1
営業総収入	10,430	△0.1	10,011	△4.0
営業利益	1,507	△9.1	1,502	△0.3
経常利益	1,765	△7.7	1,719	△2.6
四半期純利益	932	△9.1	920	△1.3
1株当たり四半期純利益	45円62銭		45円14銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 21店舗、閉店 7店舗
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 6店舗
- 2009年12月末 642店舗
(2009年3月末比 +14店舗、2008年12月末比 +29店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2009年12月末 504店舗
(2009年3月末比 +3店舗、2008年12月末比 +1店舗)
- FC店舗比率 78.5%
(2009年3月末比1.3ポイント減、2008年12月末比3.6ポイント減)

商品力強化

- 低価格政策(エブリデー・ロー・プライス)商品を新規に 223アイテム開発
エブリデー・ロー・プライス商品の売上高 138億42百万円 (前年同期比+8.4%)
- チェーン全店売上高に占める構成比 37.8%(前年同期比 4.9ポイント増)
- 販売点数構成比 52.1%(前年同期比 5.0ポイント増)

販売状況1 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店売上高 365億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店
売上高	△5.8%	△8.5%
客数	+0.2%	△3.1%
1日当たり平均客数	—	96人(△3人)
客単価	2,307円	2,324円
	△5.9%	△5.6%
1品単価	823円	827円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

- 景気低迷による雇用環境の悪化で、来店客数、客単価の減少
- 建設業、製造業等の業績不振による作業服買い替え需要の低下
- 就労日、労働者の減少で作業消耗品の販売低迷

販売状況2 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店商品別売上前年同期比と要因

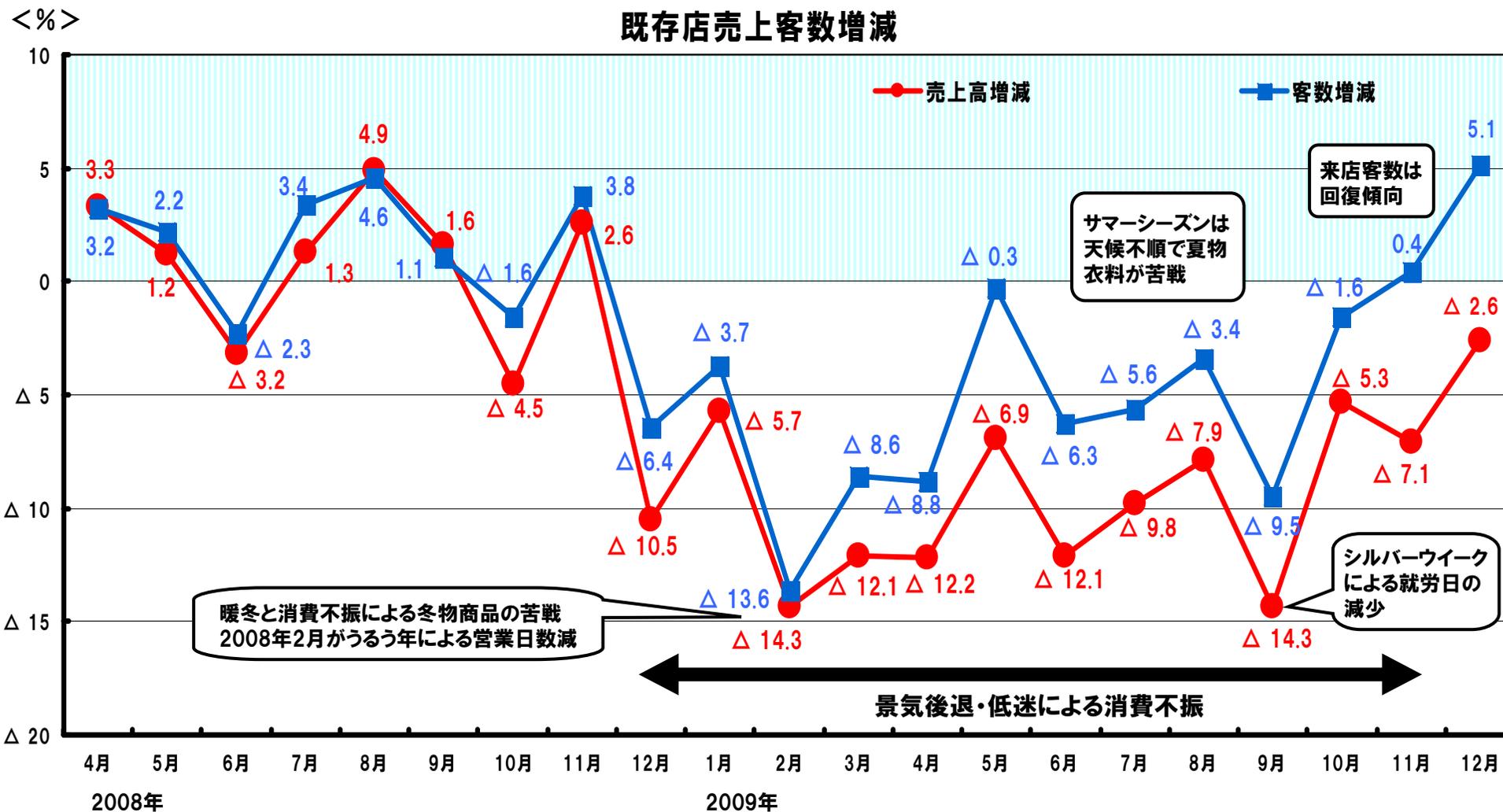
<前年同期増減率>

商品別	2009年3月期 第3四半期累計期間	2010年3月期 第3四半期累計期間	要 因
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロンなど	+1.0%	△5.3%	5本指靴下、防寒タイツの販売不振。 防寒肌着の新商品が好調。
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾンなど	+3.3%	△9.2%	長袖ハイネックの販売が大幅減。 (販売金額前年同期比 △37.5%)
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料など	△3.3%	△9.3%	通年ワーキング、シーズンワーキング共 に前年割れ。
履 物 安全靴・地下足袋・長靴・布靴・ 安全スニーカーなど	+4.8%	△1.5%	安全靴の販売が低迷。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメットなど	+4.6%	△4.9%	軍手、革手袋等を中心に作業消耗品の 販売が低迷。
そ の 他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・介護衣料など	△2.0%	+2.4%	使い捨てマスク等の不織布商品が好調。 大口顧客向けユニフォーム販売が寄与。
合 計	+1.3%	△5.8%	

販売状況3



既存店月次推移と要因



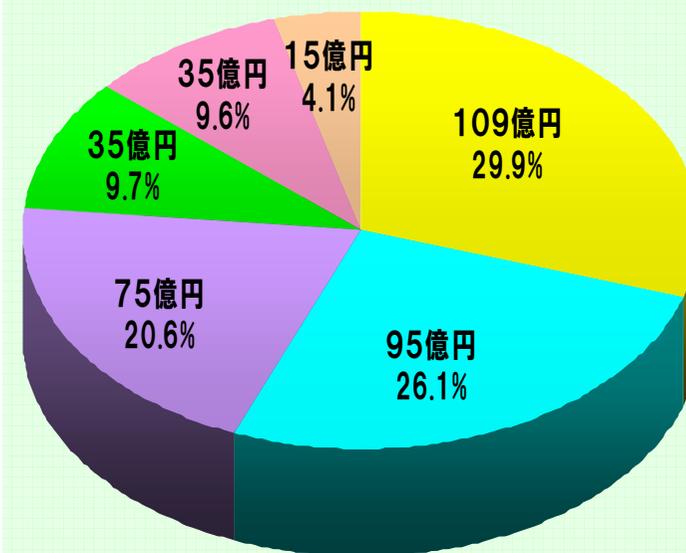
商品別売上構成

■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較 (%)

		2009年3月期 第3四半期 累計期間	2010年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
衣料	ファミリー衣料	9.5	9.6	+0.1
	カジュアルウェア	10.1	9.7	△0.4
	ワーキングウェア	31.1	29.9	△1.2
用品	履物	19.7	20.6	+0.9
	作業用品	25.8	26.1	+0.3
その他	白衣・ユニフォーム	3.8	4.1	+0.3
合計		100.0	100.0	

チェーン全店売上高365億円

■ ワーキングウェア ■ 作業用品 ■ 履物
■ カジュアルウェア ■ ファミリー衣料 ■ 白衣・ユニフォーム



※金額は表示単位未満を切り捨てております。

第3四半期決算の概要

 **2010年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期計画	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	49,469	△0.8	47,555	△3.9
(既存店売上高)	—	△3.2	—	△6.7
営業総収入	34,811	+1.5	33,442	△3.9
販売費及び一般管理費	7,091	+2.8	7,129	+0.5
営業利益	3,896	△11.5	3,455	△11.3
経常利益	4,826	△8.9	4,300	△10.9
当期純利益	2,710	△8.5	2,429	△10.4
1株当たり当期純利益	132円58銭		119円07銭	
1株当たり配当金	37円00銭		37円00銭	

2010年3月期決算の見通しポイント

売上計画

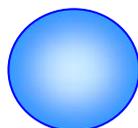
- チェーン全店売上高 475億円(前期比 $\Delta 3.9\%$)
- 既存店売上高前期比 $\Delta 6.7\%$ を想定
 - 〃 客数前期比 $\Delta 2.5\% \sim \Delta 1.5\%$ を想定
 - 〃 客単価前期比 $\Delta 5.5\% \sim \Delta 4.5\%$ を想定
- 下半期チェーン全店売上高前年同期比 $\Delta 0.0\%$ 既存店前年同期比 $\Delta 2.9\%$ を想定
(2009年3月期下半期実績 チェーン全店 $\Delta 4.5\%$ 既存店 $\Delta 7.2\%$)

利益計画

- 荒利の状況
 - 販売上位アイテムの原価低減で荒利率の向上
 - フランチャイズ・ストア荒利率 34.8% (前年比0.2ポイント向上)
- 経費の状況
 - 広告宣伝費の削減で約1億70百万円の削減
 - 加盟店向け顕彰金約87百万円減少

第3四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

出店戦略

2010年3月期計画

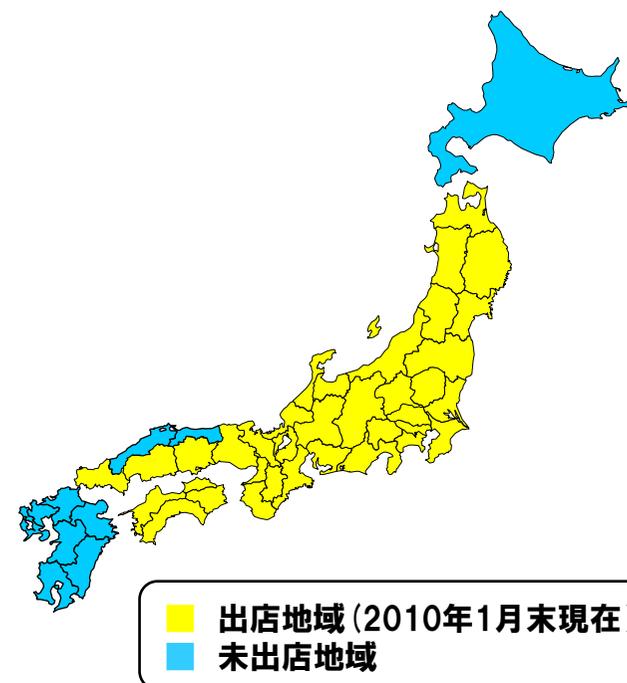
- 開店 30店舗、閉店 7店舗で、651店舗(前期末比 +23店舗)
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 6店舗

■出店状況

・2009年10月 山口県に周南店を初出店

地 域	<店舗数>		
	4月~1月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期見通し
東 北	1	—	1
関 東	8	3	9
中 部	4	3	7
近 畿	6	5	8
中 国	4	2	5
合 計	23	13	30

※通期見通しの地域毎の内訳は、2010年1月末現在の出店実績と契約状況を踏まえて見通しを立てております。



■人口の多い、南関東、近畿エリアのドミナント形成と新規エリアへの進出で客数拡大を図る

フランチャイズ(FC)化の推進

2010年3月期計画

■フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)508店舗(前期末比 +7店舗)

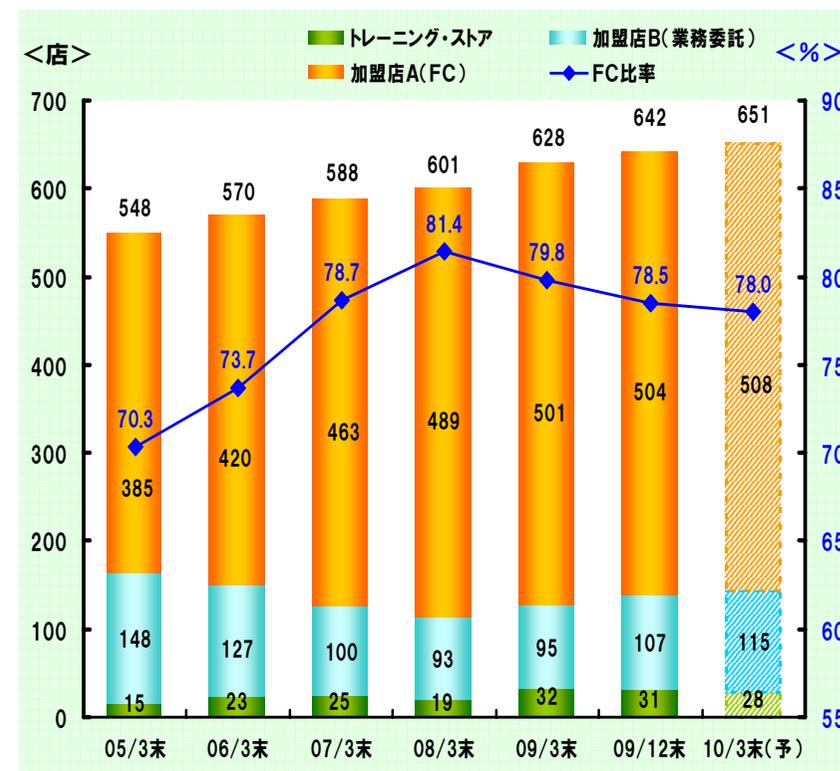
■FC化状況

・4月～12月の店舗運営形態の推移

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A契約 (内新規加盟店数)	22 (8)	19	+3
加盟店B契約 (内新規加盟店数)	33 (31)	21	+12
トレーニング・ストア	—	—	△1

※加盟店契約数の中に契約更新数は含めておりません。

※減少数の中に他運営形態への変更も含んでおります。



■個店売上の向上と荒利率の向上でフランチャイズ化を促進

商品政策

2010年3月期 エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品販売計画

■チェーン全店売上高に占める構成比 38.0%(前期実績34.3%、前期比3.7ポイント増)

■エブリデー・ロー・プライス商品販売状況

	2009年3月期 第3四半期累計期間		2010年3月期 第3四半期累計期間			2010年3月期 通期計画	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
超低価格	6,091	15.7	6,781	18.5	+11.3	9,320	19.6
ミドルゾーン	6,684	17.2	7,061	19.3	+5.6	8,750	18.4
EDLP合計	12,775	32.9	13,842	37.8	+8.4	18,070	38.0

■2010年6月末までに全店舗で売場改装実施(2010年1月末現在163店舗実施済み)

販売数を基にした売場レイアウトの変更で、売れる商品の陳列スペースを拡大

■新規開発アイテムを集中し、核となる商品を開発

■コスト競争力を高め、売上が減少しても利益を確保

■サービス業・医療、介護従事者への商品拡充(注文対応を含む柔軟な品揃え)

第3四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	19,093	20,152	1,059	
現金及び預金	9,731	10,869	1,137	
加盟店貸勘定	4,678	4,324	△354	対象店舗が18店舗減少(468店舗→450店舗) 1店舗当たりの貸付金額が約39万円減少
商品	3,840	4,101	260	流通センター在庫が126百万円増加 店舗在庫は直営店11店舗増加により134百万円増加
固定資産	13,063	13,166	103	
有形固定資産	6,884	6,779	△105	
建物(純額)	2,647	2,557	△90	出店・閉店状況 出店21店舗、S&B6店舗、閉店7店舗 出店形態(S&B含む) 建物リース21店舗、オーナー兼加盟店契約2店舗、土地リース4店舗
土地	2,966	2,966	—	
無形固定資産	83	94	10	
投資その他の資産	6,094	6,293	198	
差入保証金	5,123	5,280	157	建物リース契約での地主への建設協力金の差し入れ
資産合計	32,157	33,319	1,162	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	6,149	6,106	△43	
買掛金・加盟店買掛金	2,431	2,654	222	
未払法人税等	989	509	△480	
その他	1,318	1,566	248	
未払金	914	1,106	192	
固定負債	1,237	1,326	89	
負債合計	7,386	7,432	45	
株主資本	24,769	25,886	1,116	
純資産合計	24,770	25,886	1,116	自己資本比率 77.7%(0.7ポイント向上)
負債純資産合計	32,157	33,319	1,162	

キャッシュ・フロー計算書

<単位:百万円>

	2009年3月期 第3四半期累計期間	2010年3月期 第3四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,710	2,484	773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△662	△573	89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△828	△772	56
現金及び現金同等物の増加額	219	1,137	918
現金及び現金同等物の期首残高	9,141	9,731	589
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,361	10,869	1,508

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・加盟店貸勘定が減少したことにより5億26百万円増加
- ・法人税等の支払額が減少したことにより3億56百万円増加
- ・仕入債務が増加したことにより2億97百万円増加
- ・たな卸資産が減少したことにより1億74百万円増加
- ・税引前四半期純利益が5億88百万円減少

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・差入保証金の支出が1億2百万円減少

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第3四半期累計期間		2010年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	6,842		6,191		△9.5	
加盟店からの収入	4,447		4,043		△9.1	加盟店売上高 当第3四半期 313億49百万円、前第3四半期 338億62百万円 7.4%減少(1店舗平均9.8%減少) 景気低迷による需要の減少とデフレ進行による販売単価の下落
その他の営業収入	2,394		2,147		△10.3	チェーン全店仕入高前年同期比9.0%減少 業務受託収入10.7%減少
売上高	20,755		19,408		△6.5	
直営店売上高	4,976	(100.0)	5,238	(100.0)	+5.3	直営店期中平均店舗数127店舗(15店舗増加)
加盟店向け商品供給売上高	15,779		14,170		△10.2	FC店期中平均店舗数508店舗(13店舗増加)
営業総収入	27,597	100.0	25,600	100.0	△7.2	
直営店売上原価	3,131	11.3	3,305	12.9	+5.6	
加盟店向け商品供給売上原価	15,779	57.2	14,170	55.4	△10.2	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	18,910	68.5	17,476	68.3	△7.6	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第3四半期累計期間		2010年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,844)	(37.1)	(1,932)	(36.9)	+4.8	仕入れ割戻しの減少で売上総利益率 0.2ポイント悪化
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	8,686	31.5	8,123	31.7	△6.5	
販売費及び一般管理費	5,317	19.3	5,256	20.5	△1.1	増減要因 販売費 約11,500万円減少 流通センター運営費用 約6,600万円減少 消耗備品他一般管理費 約7,900万円減少 人件費 約4,200万円増加 直営店期中平均15店舗増 約15,700万円増加
営業利益	3,369	12.2	2,867	11.2	△14.9	
営業外収益	725	2.6	659	2.6	△9.1	
営業外費用	12	0.0	22	0.1	+78.8	リース会計適用で支払利息が約1,372万円増加
経常利益	4,082	14.8	3,504	13.7	△14.2	
特別利益	2	0.0	1	0.0	△40.5	
特別損失	20	0.1	29	0.1	+43.9	固定資産除却損 閉店7店舗、S&B6店舗で936万円 減損損失 営業不振店舗6店舗、閉店店舗が2店舗で1,983万円
四半期純利益	2,169	7.9	1,871	7.3	△13.7	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン
銘柄コード:7564(JASDAQ)

お問い合わせ先:経営企画部IR室

TEL:03-3847-8190

E-mail:wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>